

予算特別委員会の審査から

予算特別委員会の審査から

第1回定例会では、平成26年度当初予算について、一般会計のほか、6つの特別会計の予算を、3月14日から26日までの間、予算特別委員会で審査しました。また、平成25年度補正予算について、3月7日に審査しました。ここでは、それぞれの主な審査内容についてお知らせします。◇質疑の詳しい内容については、8月下旬に発行予定の会議録をご覧ください。なお、会議録は、両庁舎情報公開コーナー、市ホームページでご覧いただけます。

平成26年度当初予算審査の概要

◆一般会計 【説明】歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ698

億500万円と定める。債務負担行為は、都市計画道路事業用地購入費など21件を予定。地方債は、民間保育所施設整備事業など17事業で、53億1千780万円

の借入限度額を予定。一時借入金の最高額を60億円と定めるものである。 【主な質疑項目】 ・市税へのアベノミクスの影響及び消費税導入の市

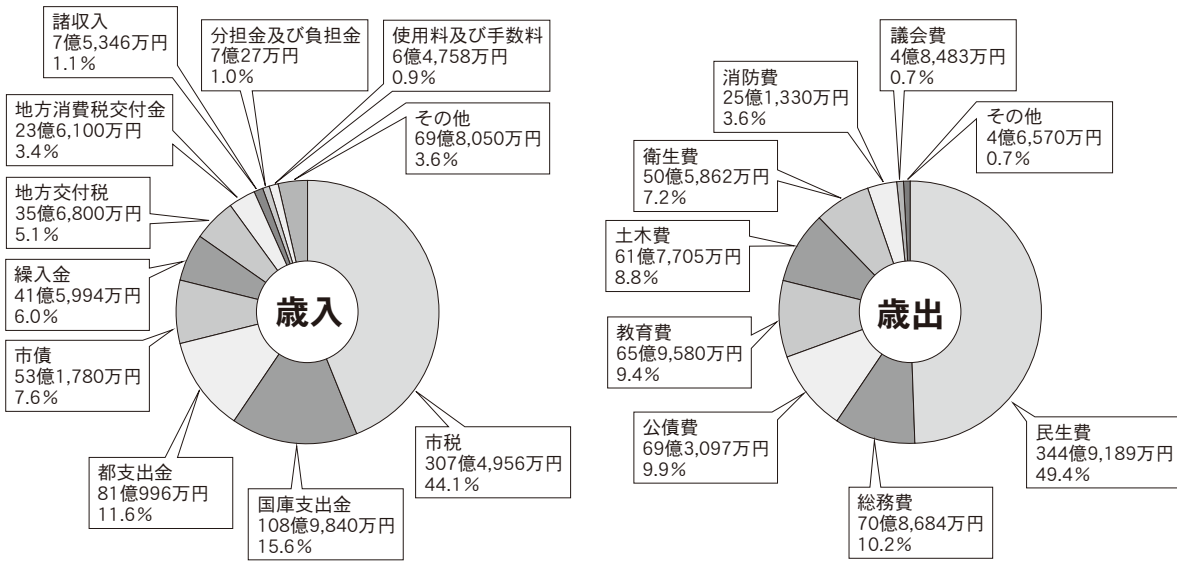
税に与える影響について市民税個人の特別徴収事業所に対する配慮について ・虐待防止支援員の資格要件、相談員の対応力の向上、虐待防止の啓発活動について及び性的虐待に対する対応強化について ・地域コミュニティ自治会や町内会等活性化補助金の告知の方法、効果測定の仕方、補助金の継続について ・庁舎統合については、市民との合意形成に向けた取り組み、職員アンケート

トについて、周辺施設の建て替えと改修のコスト比較について ・いこいな活用の活用として、商店会街路灯へのフラッグ、子育て施設へのステッカー活用は、いこいな像作成選定の経過内容について ・在宅介護支援等事業の地域包括支援センター職員を抱える相談件数について ・国民健康保険の法定外繰入金金の健全性のための基準づくりの状況、広域化による保険料の差について ・生活保護面接相談員新規配置の内容、ケースワーカーとの関連及び1人当たりの担当世帯数の23区との格差の見解について ・認知症及びねたきり高齢者等紙おむつ給付事業の現金給付決定について ・ごみの無料収集による資源化事業と、生ごみ電動処理機等購入助成金の今後の考え方について ・都から示された先天性風疹症候群対策委託の対応について ・がん検診事業の受診率向上支援委託の身と方法及び受益者負担について ・勤労者福祉サービスセンター運営費補助金の大幅削減に至った背景、補助金の評価、算出の根拠について ・多様な農業経営支援事業の農業の担い手づくりとして盛り込む内容について ・市内消費喚起事業の立ち上げによる今後の効果測定、消費税率アップに対する支援を税で賄う問題について

・都市計画道路3・4・21号線事業の営業補償について、都市づくり公社に委託の評価は、土地開発公社の活用と国・都補助金について ・都バス70の便数減と代替の検討、民間バス利用について ・ひばりヶ丘駅南口駅前広場バリアフリー化事業の実設計の見直し、駅前広場の中の交番設置は緊急メール配信サービスの登録者数の減傾向と、双方方向のソーシャルメディアの活用について ・学校統合同事費の泉小・住吉小の統合に当たって子どもに対する説明、移動希望校調査の実施方法・時期、交流事業の教員の負担増、学校選択制との関連について、保護者に対するリーフレット配付に当たっての配慮について ・適正規模・適正配置検討事業の統合格議会のメンバー・人数・開催回数・スタート時期について ・小1プロブレムと学級編制、幼小一元化について ・学校図書館専門員の果たしている役割の評価、1校1名の配置は 【結果】賛成多数で可決

・道路新設改良事業の入札不調と進捗のおくれ、入札の進行管理について ・3・2・6号線関連雨水管整備の工事進捗と今後の負担金は 【結果】賛成多数で可決 ・国民健康保険特別会計 【結果】賛成多数で可決 ・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計 【結果】賛成多数で可決 ・後期高齢者医療特別会計 【結果】賛成多数で可決

一般会計歳入・歳出予算の内訳



予算総額 698億500万円 住民1人当たり 353万円 1世帯当たり 758万円 ※住民1人当たりの金額は、平成26年4月1日現在の人口(197,676人)で計算しています。 ※1世帯当たりの金額は、平成26年4月1日現在の世帯数(92,073世帯)で計算しています。 ※表示単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

一般会計・特別会計予算比較表

Table with 4 columns: Accounting Division, FY26 Budget, FY25 Budget, and Growth Rate. Rows include General Account, National Health Insurance, Sewerage, etc.

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

平成25年度補正予算審査の概要

◆一般会計 【説明】歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ698億500万円と定める。債務負担行為は、都市計画道路事業用地購入費など21件を予定。地方債は、民間保育所施設整備事業など17事業で、53億1千780万円

の借入限度額を予定。一時借入金の最高額を60億円と定めるものである。 【主な質疑項目】 ・市税へのアベノミクスの影響及び消費税導入の市

税に与える影響について市民税個人の特別徴収事業所に対する配慮について ・虐待防止支援員の資格要件、相談員の対応力の向上、虐待防止の啓発活動について及び性的虐待に対する対応強化について ・地域コミュニティ自治会や町内会等活性化補助金の告知の方法、効果測定の仕方、補助金の継続について ・庁舎統合については、市民との合意形成に向けた取り組み、職員アンケート